

## インドネシア大統領選挙

速報では現職ジョコ大統領が続投へ

2019年4月18日

### 市場への影響は短期的には限定的

2019年4月17日（現地、以下同様）に実施されたインドネシア大統領選挙と議会選挙は、開票作業が同日開始されました。民間の調査機関によると、大統領選挙において現職のジョコ大統領が勝利する見込みと速報で報じられています。今回の大統領選挙は現職のジョコ大統領と、陸軍特殊部隊の元司令官で最大野党グリンドラ党の党首、プラボウォ氏の一騎打ちで、前回2014年の大統領選挙でも同じ2人が戦い、接戦の末、ジョコ氏が53%の得票率で勝利しました。今回の選挙においても、有力な調査機関による支持率調査では、一貫してジョコ氏がリードしていました。選挙管理委員会による公式な結果が発表されるまでには数週間かかるものの、過去の経験則から速報の信頼性は高いとみています。プラボウォ氏はかねてから有権者名簿に不正があると非難していたため、開票結果に異議を唱える可能性もありますが、劣勢を覆すには至らないと考えています。

議会選挙では、ジョコ氏率いる闘争民主党を中心とする与党連合が国民議会で過半数の議席を獲得すると予想されています。金融市場では、大統領選挙と議会選挙でいずれも与党陣営が優勢と予想されていたことから、短期的な市場への影響は限定的とみています。

### インドネシア・ルピア資産は堅調な推移が見込まれる

インドネシアのインフレ率は足元低位で推移していますが、中央銀行のペリー・ワルジヨ総裁は、引き続き金融安定性の維持と経常赤字の削減が主要目標だと強調し、外部環境を注視するとして、金融緩和観測をけん制しています。当社は、通貨安への警戒感を背景に、次回4月25日に行われる金融政策決定会合では政策金利は据え置かれるとみています。

2018年の新興国市場の逆風となっていた米国の金融引き締め姿勢が後退していること、中央銀行の通貨防衛姿勢が維持されていること、大統領選挙および議会選挙を無事に通過したことなどが、インドネシアの金融市場をサポートすると考えています。

長期的な視点では、政権継続により安定した経済成長戦略や構造改革が期待されます。一例として、都市部の渋滞解消を企図して開通した地下鉄開発などの成長戦略が今後も進展していくことが予想されます。

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。